

高潮とは

高潮発生の仕組み

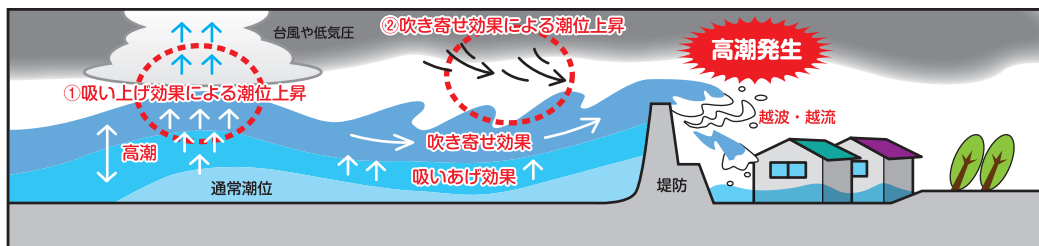
高潮とは、台風や発達した低気圧の接近により潮位（海面）が高くなる現象です。主な原因としては次のとおりです。

①気圧低下による吸い上げ

台風や低気圧の中心では気圧が周辺より低いため、気圧の高い周辺の空気は海水を押し下げ、中心付近の空気が海水を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。気圧が1hPa(ヘクトパスカル)下がると、潮位は約1cm上昇すると言われています。

②風による吹き寄せ

台風や低気圧に伴う強い風が沖から海岸に向かって吹くと海水は海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が上昇します。風速が2倍になった場合、海面上昇は4倍となります。



高潮発生時に注意すべき事項

高潮が発生した場合、海水が陸地へ流れ込み浸水による被害を起こします。特に、次のような場所や時間には気をつける必要があります。

海岸近くの低地

海岸近くの低地では、高潮による浸水被害が起こる危険性が高くなります。

湾の奥や河口部

湾の奥は吹き寄せられた海水が集まり、水位が上がります。河口部では高潮と洪水が重なる危険性があります。

大潮の満潮時

台風の接近時に最も潮位の高くなる大潮の満潮時と台風の接近が重なった場合、高潮の危険性も高くなります。



高潮と台風 「台風」は高潮を引き起こす要因である「低気圧」と「強風」を併せ持っています。台風の接近が予想される場合、高潮発生の可能性が高くなります。

台風と進路との関係

台風は進行方向に対して右側の風が強く、吹き寄せ効果による高潮が発生しやすくなります。



台風へ吹き込む風と台風を動かす風が同じ方向に吹くため、風が強くなる。

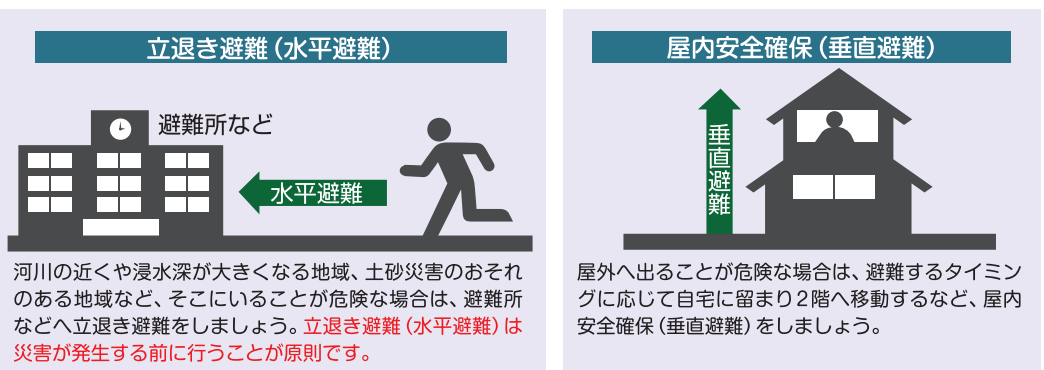
台風の強さ(最大風速)

強い台風	非常に強い台風	猛烈な台風
33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満	44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満	54m/s(105ノット)以上
立っていられなくなり、看板などが飛ぶ	樹木が折れ、トラックなどが横転する	樹木や電柱が倒れ、住家倒壊の危険性がある

避難の心得

避難行動とは

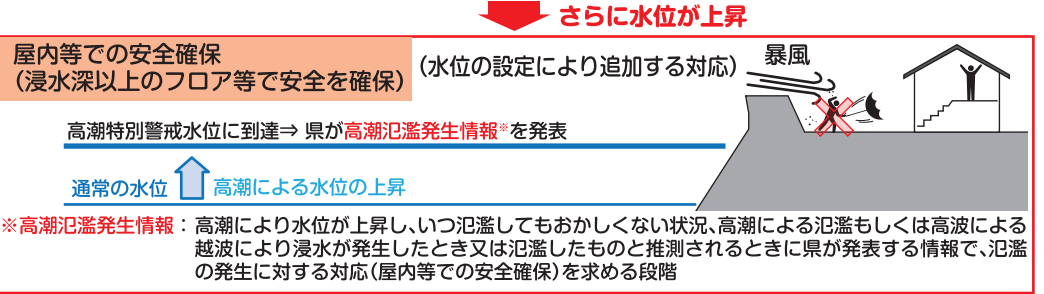
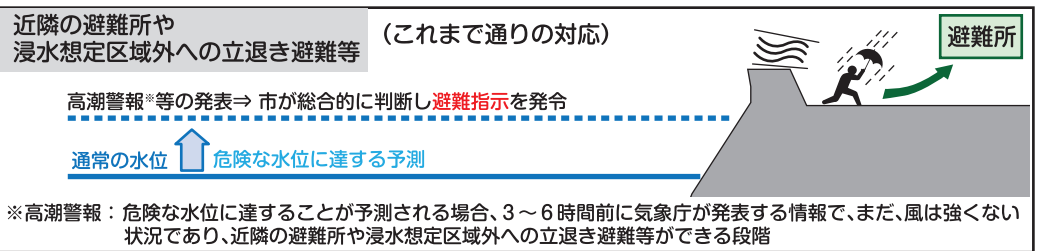
避難行動には、自宅外の安全な場所へ移動する「立退き避難(水平避難)」と、自宅の2階など屋内でより安全な場所へ移動する「屋内安全確保(垂直避難)」があり、地域や状況によって避難の方法は異なります。特に、大雨や夜間における避難の場合は、自宅外への避難途中に被害にあう可能性があるため、避難するタイミングに応じて、最も適切な行動をとりましょう。



状況に応じた避難行動

神奈川県では、高潮による災害の発生を特に警戒すべき水位として、「高潮特別警戒水位」を設定しました。

検潮所の水位がこの水位に達した場合には、県は「高潮氾濫発生情報(避難情報等における警戒レベル5相当情報)」を発表します。台風による強風や大雨、またはすでに高潮発生が予想されるため、立退き避難は危険な場合があります。状況に応じた避難行動をとりましょう。



出典：高潮浸水想定区域図について(相模灘沿岸)(解説)：令和3年5月神奈川県